

台風12号の接近に対する水稻の管理対策

平成30年7月27日

糸魚川農業普及指導センター

○現在の気象庁の台風情報によると、台風12号は29日頃に近畿地方に接近し、北陸地方はフェーン現象によりかなりの高温が予想されます。

○天気予報の台風情報に留意の上、フェーン現象が発生する前にすみやかに（7月28日までに）ほ場を水を入れてください。

○水深を5cmは確保できるように、水はたっぷりに入れてください。

1 現在の状況

- ・台風が本州に接近する際、北陸地方はフェーン現象による南からの乾燥した強い風が吹き、気温がかなり高くなることが予想される。
- ・現在、早生品種は出穂期を迎え、主力品種のコシヒカリでもまもなく出穂期を迎える段階であり、水が必要な稲にとって大変重要な時期である。

2 水稻の管理対策

- ・現在、水管理は飽水管理または湛水管理が行われているが、フェーン現象による高温では蒸散量の急激な増加とともに、ほ場水分も奪われて水不足になるおそれが高い。
- ・飽水管理の場合、フェーン現象発生前にあらかじめほ場に水を入れて湛水状態にしておく。水深は5センチは確保する。